

LifeKeeper for Linux v8.1.2

テクニカルアップデートインフォメーション



1	はじめに	3
2	LifeKeeper for Linux v8.1.2 の変更点	4
2.1	mirror_resize コマンドの追加	4
2.2	mirror_action コマンドの変更点	4
2.3	データレプリケーションリソース作成時の仕様変更	5
3	お問い合わせ	6
4	免責事項	7

1 はじめに

本文書では LifeKeeper for Linux v8.1.2 での機能変更について概説します。

2 LifeKeeper for Linux v8.1.2 の変更点

2.1 mirror_resize コマンドの追加

従来の LifeKeeper では、レプリケーション領域として保護している領域の容量を変更する場合はリソースの再作成が必要でした。本コマンドが実装されたことにより、リソース再作成を行わずに保護している領域の容量を変更することが可能となりました。

コマンドの詳細については、以下の URL をご確認ください。

Mirror Resize

http://jpdocs.us.sios.com/Linux/8.1.2/LK4L/ReleaseNotes/Content/datakeeper/administration/command_line_mirror_administration.htm#MirrorResize

2.2 mirror_action コマンドの変更点

v8.1.2 からは mirror_action コマンドを実行する際に、必須であったソースノードの指定が任意になりました。これにより、mirror_action コマンドを実行したノードのノード名が自動的にソースノードとして指定されます。なお、リソースの状態が OSU のノードで mirror_action コマンドを実行する際は、v8.1.1 以前と同様に引数にソースノードを指定してください。

コマンドの詳細については、以下の URL をご確認ください。

Mirror Actions

http://jpdocs.us.sios.com/Linux/8.1.2/LK4L/ReleaseNotes/Content/datakeeper/administration/command_line_mirror_administration.htm#mirror_action

2.3 データレプリケーションリソース作成時の仕様変更

v8.1.2 からデータレプリケーションリソースをデフォルトの設定で作成した場合は、同期モードが Synchronous で作成されるようになりました。また、同期モードを Asynchronous でリソースを作成した場合に、nbd-server のスレッド数が 1 に設定されます。

上記変更は、データレプリケーション構成においてスタンバイ側のファイルシステム(データ)に不整合が発生する可能性がある事象の対応の一環です。

[同期・非同期モードの確認方法]

mirror_status コマンドを実行し、出力結果の Type 項目が Synchronous と表示されていれば同期モード、Asynchronous と表示されていれば非同期モードで設定されていると判断できます。

コマンド

```
# /opt/LifeKeeper/bin/mirror_status <tag name>
```

出力例

```
# /opt/LifeKeeper/bin/mirror_status datarep-dr
Mirror Configuration:
[X]test1.labs.sios.com -> test2.labs.sios.com (10.1.6.7)
Status: Paused
Type: Asynchronous

Bitmap: 819189 bits (chunks), 40302 dirty (4.9%)
```

[nbd-server のスレッド数の確認方法]

ターゲットノードで以下のコマンドを実行して、出力結果に"-t1" が含まれていることを確認してください。

コマンド

```
# ps auwx | grep nbd
```

出力例

```
# ps auwx | grep nbd
/usr/local/bin/nbd-server 10258 /dev/sdb -t1
```

DataKeeper環境でターゲット側のデータに不整合が発生する可能性のある事象については、以下の URL をご確認ください。

[Linux]データレプリケーション構成においてスタンバイ側のファイルシステム(データ)に不整合が発生することがある

http://lk.sios.com/modules/techbb/viewtopic.php?topic_id=89&forum=1

3 お問い合わせ

本ドキュメントの記載内容について、疑問点等がある場合は弊社サポート窓口までお問い合わせください。お問い合わせの一次窓口が弊社ではない場合があります。サポート証書にてサポート窓口を確認のうえ、適切なお問い合わせ窓口にお問い合わせください。

<http://www.sios.com/products/bcp/lkd/contacts/>

4 免責事項

- 本書に記載された情報は予告なしに変更、削除される場合があります。最新のものをご確認ください。
- 本書に記載された情報は、全て慎重に作成され、記載されていますが、本書をもって、その妥当性や正確性についていかなる種類の保証もするものではありません。
- 本書に含まれた誤りに起因して、本書の利用者に生じた損害については、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。
- 第三者による本書の記載事項の変更、削除、ホームページ及び本書等に対する不正なアクセス、その他第三者の行為により本書の利用者に応じた一切の損害について、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。
- システム障害などの原因によりメールフォームからのお問い合わせが届かず、または延着する場合がありますので、あらかじめご了承ください。お問い合わせの不着及び延着に関し、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。

【著作権】

本書に記載されているコンテンツ(情報・資料・画像等種類を問わず)に関する知的財産権は、サイオステクノロジー株式会社に帰属します。その全部、一部を問わず、サイオステクノロジー株式会社の許可なく本書を複製、転用、引用、公衆への送信、販売、翻案その他の二次利用をすることはいずれも禁止されます。またコンテンツの改変、削除についても一切認められません。

本書では、製品名、ロゴなど、他社が保有する商標もしくは登録商標を使用しています。

サイオステクノロジー株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-1-28 虎ノ門タワーズ

電話:03-6860-5105

FAX:03-6860-5133

<http://www.sios.com>